

## 経済学部附属地域経済研究センター創設記念行事について

経済学部 松水 征夫

本センターは、中国・四国地方を中心とした地域経済に関する実証的な調査・研究を行い、学外の調査・研究機関と連携して、地域経済の研究活動を推進することを目的として、平成元年5月29日に経済学部附属の研究施設として新設されたものである。

本センターの創設を記念して、センター長の櫛本 功教授のほか、広島県知事、広島市長および地元の経済4団体などが発起人となり、6月26日（月）に講演会と祝賀会を広島県民文化センターで開催した。

センター創設記念講演会の開会に先立って櫛本センター長が挨拶し、センターの簡単な紹介をした後、竹下虎之助広島県知事より御祝辞を賜るとともに、「本センターの活動が、中国・四国地方のシンクタンク機能の充実・強化に貢献するとともに、地域経済の活性化のために大いに寄与することを期待している」旨の励ましのお言葉を頂戴した。

記念講演会は、慶應義塾大学経済学部の加藤 寛教授に「これからの日本経済と地域の課題——産学官の連携と計画行政——」と題してお話しいただいた。加藤先生には、大ホールにはほぼ満員の聴衆を前にして、日本経済の当面する問題と中国・四国地域が取り組むべき課題について熱弁をふるっていただくとともに、われわれのセンターの進むべき方向についても大変貴重な御示唆をいただいたことに対してあらためてお礼を申し上げたい。

講演会終了後、県民文化センター5階のサファイアの間に場所を移して、センター創設祝賀会を開催した。大学関係者だけでなく、国会議員、行政関係者や経済界の方々にも多数御出席いただき、会場は熱気に包まれた。



センターの活動に対する地元の期待がいかに大きいかをあらためて痛感した次第である。

祝賀会では、広島テレビの小森山国夫アナウンス部長の司会のもと、まず荒木 武広島市長、橋口 収広島商工会議所会頭からお祝いのお言葉を頂戴した後、本学の田中隆莊学長から大学を代表してお礼の御挨拶をしていただいた。藤井 明広島経済同友会筆頭代表幹事の乾杯の音頭の後、宴もたけなわになったとき、加藤先生からユーモアあふれるスピーチを、岸田文武衆議院議員、沖原 豊前広島大学長からはセンターに対する激励の御挨拶を賜った。祝電披露が行われ、最後に本学部の砂川良和学部長からお礼の挨拶が述べられた後、センター長からセンターの研究員・客員研究員の紹介がなされ、抱負が述べられて、祝宴は盛会裏にお開きとなった。

最後になりましたが、センター創設に関しまして、文部省を始めとする関係機関ならびに本学の多数の先生方や事務局の方々、さらに地元の行政・経済界の方々に大変な御尽力を賜りましたことに対しまして深く感謝致します。